

佐賀県損害保険防犯対策協議会総会を開催

～佐賀県警と不当不正請求排除に向けた連携を確認～

日本損害保険協会 佐賀損保会（会長：成田 浩章・損害保険ジャパン株式会社 佐賀支店長）では、11月15日（火）に佐賀市内で、第39回佐賀県損害保険防犯対策協議会総会を開催し、来賓・会員など23名の出席がありました。

開会にあたり、佐賀県損害保険防犯対策協議会の成田会長から、関係機関へ長年にわたる協力・支援に謝辞を伝えるとともに、「本協議会の目的を改めて認識し、今後もその使命を果たすべく、関係機関のみなさまの力を借りながら、損害保険の健全な発展に一層の努力をしていく」と挨拶がありました。

来賓の佐賀県警察本部の井原 和明 刑事部長からは「人身事故発生件数は前年同期に比べ減少しているが、10月下旬から6件もの死亡事故が発生し、県下に交通死亡事故多発警報が発令される等、大変厳しい状況にある。また、依然として交通事故に絡んだ保険金詐欺など損害保険制度を悪用した犯罪が発生している。そのようなケースは、早い段階で、警察・暴追センター・弁護士会など関係機関に対して相談や情報提供を行い、損害保険に絡んだ保険犯罪の未然防止につとめていただきたい」との挨拶があり、財務省や佐賀県弁護士会からも保険犯罪防止に向けた力強いご挨拶をいただきました。

続いての講演では、佐賀県警察本部 刑事部組織犯罪対策課 土井富 浩一 課長補佐から「最近の反社会的勢力の現状について」暴力団対策法の沿革説明とともに佐賀県内における暴力団情勢の講話があり、佐賀県警察本部 交通部交通指導課 山崎 康子 交通事故事件捜査統括官からは「県内の交通情勢と交通事故保険金詐欺事件の現状」をテーマに講話があり、交通事故防止への取り組みや「偽装」「架空」「発生した事故を利用した」保険金詐欺の事例について説明がありました。続いて、佐賀県暴力追放運動推進センター 福島 寛人 専務理事からも暴追センターの概要及び活動状況につき講話をいただきました。

その後、損害保険事業の社会公共性に鑑み、損害保険に関する犯罪の予防と排除に努め、事業の健全な発展を図るための決議を全員一致で採択し、その意思を確固たるものにしました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力対策および不正請求対策として、関係機関と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国に協議会を設けています。当協議会は1981年に設置され、会員のほか、関係機関から来賓をお招きして年1回総会を開催しております。本年度の開催概要は次の通りです。

第39回 佐賀県損害保険防犯対策協議会総会 式次第

1. 開会挨拶 佐賀県損害保険防犯対策協議会 成田 会長（損害保険ジャパン）
2. 来賓及び出席者紹介
3. 来賓ご挨拶 佐賀県警察本部 刑事部長 井原 和明 様
財務省 佐賀財務事務所 理財課長 山根 一寿 様
佐賀県弁護士会 民事介入暴力特別委員会委員長 弁護士 奥田 律雄 様
4. 令和3年度活動報告及び令和4年度活動方針
5. 決議文唱和・採択 佐賀損害サービス分科会 岩崎 代表幹事（東京海上日動火災）
6. 講演 佐賀県警察本部 刑事部組織犯罪対策課 課長補佐 土井富 浩一 様
佐賀県警察本部 交通部交通指導課 交通事故事件捜査統括官 山崎 康子 様
佐賀県暴力追放運動推進センター 専務理事 福島 寛人 様
7. 閉会の辞 佐賀損害サービス分科会 岩崎 代表幹事（東京海上日動火災）

（注）「佐賀損保会」および「佐賀損害サービス分科会」は、当支部の組織です。



開会挨拶する成田会長



挨拶を行う佐賀県警井原刑事部長



来賓挨拶を行う山根財務事務所課長



来賓挨拶を行う奥田弁護士会委員長



活動方針を提案する岩崎代表幹事



講演をする佐賀県警土井富課長補佐



佐賀県警山崎捜査統括官の講演



講演をする福島暴追センター専務理事



司会進行を務める酒見副代表幹事